

水戸葵陵高等学校医歯薬コース

医歯薬通信

2017年6月

SANS FRONTIÈRES vol.26

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

はじめに

平成29年4月7日、第33回入学式が挙行されました。医歯薬コースも第15期生40名を迎え入れることができました。今年の医歯薬コースの1年生は男子生徒21名女子生徒19名とバランス良く構成されました。入学当初からよい雰囲気で過ごしている様子がうかがえます。期待を持って指導していきたいと思えます。

平成28年度は医学部医学科合格数15という今までにない合格数を出すことができました。過年度生の貢献が大きいところもありますが、現役でも筑波大学の医学科に合格しております。今年度の入学生はそのような状況の中で入学してきた生徒達なので、雰囲氣的にも期待が高まります。我々教職員はそのプレッシャーに押しつぶされることなく、焦らず弛まず生徒の将来を第一に考え、本質を踏まえて指導に当たっていききたいと思えます。本年度もよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

総合学習発表会

平成29年3月4日に総合学習発表会を行いました。今回は1年生が興味のあるテーマについて自由に調べ学習をし、2年生にパワーポイントを用いて発表しました。活発な質疑応答が行われ、1・2年生の交流がさらに深まりました。研究テーマは以下の通りです。

『臓器移植～私たちが知っておくこと、できること～』『精神病について』『電子カルテと紙カルテ』『発達障害について』『食品添加物』『抗がん剤』『ウィルス』『感染症』



第2回医師講演会

平成29年2月2日、医歯薬コースの1、2年生を対象に、今年度2回目の医師講演会が開かれました。

講師の先生は、筑波大学総合診療グループ 北茨城地域医療教育ステーション 横谷省治先生です。

横谷先生には、昨年度、チーム医療について講演をしていただきましたが、今年度は、「地域で求められる医師とは 病気を診ずして病人を診よ、さらに暮らしを診よ」というテーマで、総合診療医について、地域医療について講演をしていただきました。ケース・スタディとして、生徒たちが考え、発表する場面もあり、「『場』を診る、まるごと診る、ずっと診る」という総合診療医について、生徒たちは理解を深めることができました。



千葉科学大・出張模擬授業



平成29年3月16日、医歯薬コースの1、2年生を対象に、千葉科学大学の出張模擬授業が行われました。

「薬はどうして効くの？」薬学部 細川正清先生、
「記憶のメカニズム」薬学部 森雅博先生、
「臨床検査技師の仕事について」危機管理学部畑明寿先生、
「ストレスと上手につきあおう」看護学部 吉野由美子先生

生徒たちはこのうち2つの講義を選択して受講しました。

専門知識を高校生がわかりやすいよう、身近な例を用いた講義や、体験型の講座での実習があり、生徒たちは積極的に講義に参加していました。

日立さくらロードレース・ボランティア

平成29年4月9日、日立市で行われた日立さくらロードレースにボランティアとして参加してきました。今年で17回目の開催となり、18,000人を超えるランナーの方たちが参加する非常に大規模なマラソンです。私たちは参加者のチップを回収する係でした。生憎の雨で非常に寒い中のボランティアでたいへん疲れましたが、参加者の方々が笑顔で懸命に走っている姿を見て、元気ももらった気がします。(2年男子)

救急救命講習会

平成 29 年 3 月 27 日、現 2 学年医歯薬コースを対象に、救急救命講習会が行われました。特に救急法のなかで大切な「心肺蘇生」と「AED（自動体外式除細動器）」の使用法についてお話をいただき、実際に人形を使って学びました。救命措置の手順はそれほど多くありませんが、ひとつひとつが大切な手順であり飛ばすことができません。何度か練習を重ね、ロールプレイをしてみました。中には頭から手順が飛んでしまったり、AED の音声聞き取れなかったりする生徒がいて、緊急時の対応がどれほどたいへんなのかを実感した様子でした。以下が参加した生徒の声です。「AED の音声に正確に従うことが救命につながると思いました」「意識の確認や気道確保の手順では気恥ずかしいものがありました、緊急時にも慌てずできるよう覚えておきたいです」



第 1 学年宿泊学習

平成 29 年度 4 月 21 日～24 日にレイクエコーにて 3 泊 4 日で共同宿泊学習が行われました。入学して間もない 1 年生にとって初めての行事でしたが、大きな問題や怪我もなく生徒全員が無事に合宿を乗り越えることができました。授業の予習・復習から問題演習まで、自分で勉強の計画を立てて実行する習慣の難しさを実感した生徒が多いようです。最終日は野外活動でカレー作りを行いました。役割分担で決められた仕事をこなせるように、周りをよく見て、楽しく活動していたように思います。また、まだ出会って間もないクラスメイトとの仲も深められ生徒にとっては非常に有意義な合宿でした。学習習慣を継続し、また切磋琢磨しながら夏に向けて集中力・体力を身につけて行って欲しいと思います。



北茨城地域医療見学

今年度の医師講演会で筑波大学医学医療系臨床医学域、横谷省治先生に講演して頂きました。その際北茨城市民病院附属家庭医療センターを見学する機会を設けて頂き、4 月下旬に本校生が参加しました。受付や看護の業務の見学に加えて、診察時に聴診器を使用して直接患者と接する実習が行われました。現場で医師や病院スタッフの仕事に触れることで、生徒達は地域医療の重要性を実感しました。「患者さんとコミュニケーションをとることは想像以上に大変でした」、「医師は患者さんと接する以外に様々な業務をこなしており、より一層尊敬と憧れを抱きました」（2 年男子）医療従事者を目指す気持ちと感謝の念が強くなった様子です。

平成 29 年度進学状況

平成 28 年度の医歯薬コースは卒業生は 37 名と少ない数であったが、延べ人数で国公立大学 28 名、医療系学部 42 名の合格を果たした。中でも筑波大学医学群医学類をはじめとする筑波大学に医歯薬コースから 6 名の合格者が出たことは本校初の快挙となった。また、国公立大学の一般入試での合格者が多く出たのも特徴的で、センター試験の得点率の向上、2 次試験の記述式の学力もしっかり身につけていた証ともいえる結果となった。そして後期試験での合格者も出ており、最後まで諦めない姿勢が大切であると改めて感じた入試であった。卒業生には将来社会に貢献する人材となって活躍して欲しいと思います。